

ステップ名称		入院日	手術当日	手術当日	手術後 1日目	手術後 2日目
		1日目	2日目		3日目	4日目
		手術前		手術後		
合併症	自覚症状			■苦痛・創部痛のコントロールができる	■苦痛・創部痛のコントロールができる	■苦痛・創部痛のコントロールができる
	客観的観察			■創部の発赤・腫脹がない	■創部の発赤・腫脹がない	■創部の発赤・腫脹がない
患者状態	症状			■創痛コントロールができている	■創痛コントロールができている	■創痛コントロールができている
生活動作	活動			■指示された安静が守られている	■指示された安静が守られている	■指示された安静が守られている
				■術後の安静が守れる	■ADLの拡大に努める	■ADLの拡大に努める
	排便・排尿				■早期離床ができる	
					■スムーズに排尿できる	
経口			■水分摂取ができる	■食事摂取ができる		
知識・理解	術前		■手術前の絶飲食が守れる			
			■手術の心構えができています			
			■不安の内容を表現できる			
			■予定通り手術を受けることができる			
			■手術に対する準備ができる			
			■手術に対する不安を軽減できる			
	術後			■創部感染を起こさない	■創部感染を起こさない	■創部感染を起こさない
	入院時	■入院環境に慣れ、手術の受け入れができる				
		■本人及び家族が治療計画を理解している・新規-評価基準				
■本人及び家族が手術・麻酔について理解している						
■手術の必要性・危険性について理解している						
■乳房切除の必要性を理解している						
検査後			■異常の早期発見と対処ができる	■異常の早期発見と対処ができる	■異常の早期発見と対処ができる	
観察項目		疼痛	疼痛	浸出液	浸出液	浸出液
		不安	不安	疼痛	疼痛	疼痛
				不安	不安	不安
				出血（創部）	腫脹	ドレーン排液量
				腫脹	ドレーン排液量	ドレーン排液性状
				ドレーン排液量	ドレーン排液性状	出血（創部）
				ドレーン排液性状	出血（創部）	しびれ
				浮腫	浮腫	浮腫
検査結果						
食事	 普通食 21時より絶食	 絶飲食	 帰室後5時間後、以降 診察後、出血なければ 少量飲水	 回診後、出血なければ 朝から食事 開始	 普通食	
安静度	 病院内フリー	 病棟内フリー	 ベッド上安静	 BMI:30以上の患者様 は、術後栄養 指導の要約を参照し、 機内フリー 患側上肢の運動制限 を参照	 病院内フリー	
排泄			 翌朝まで尿溜（膀胱留 置カテー テル挿入中）	 膀胱留置カテーテル 抜去 白濁確認 / 白濁あり 清拭		
清潔	 シャワー浴（自宅で入 浴してから 入院予定。希望あり）				 清拭	
検査	 術前一般検査の確認		 手術室にて胸写 （ポータブル撮影）		 血液検査	
治療処置		 下肢弾性ストッキン グ・T字帯着 用	 手術室にて胸写 （ポータブル撮影）	 術後何度が回診にDr 来ます	 回診（8時頃、Dr来 検） 回診後、バイタルサイン3検	
			 観察のたび創部圧迫 ガーゼ外し後 出血の有無観察	 術後バイタルサイン6 検（帰室時 、30分後、1時間 後、2時間後）		
			 術後心電図モニ ター・フットポン プ装着			
薬剤	 持参薬の確認（術前 内服薬も含め） 眼薬 リスミー1T+ セノシド 2T内服	 必要な持参薬は朝の み服用（6～ 7時頃）	 <末梢> 末梢輸液は回診時ま でキープ ①ソルアセトF 500ml+カルバゾ クロムスルホン酸Na 静注50mg1管 +トランサミン1A 100ml/h （乳房全摘の場合 は、止血剤混注） ②VD/リター-T3号500m l 80ml/h ※点滴終了後	 必要な持参薬開始		
		 <末梢創管> セファゾリンナトリ ウム1g 2V+ 生食2本→100ml 手術前抗生剤は搬入		 回診後、出血なければ 点滴終了し 抜針		
		 <末梢> 手術開始1時間前より ①フィジオ140				
説明・指導	 入院オリエンテー ション リスト バンド装着・ネーム 表示・入院時	 必要物品の確認	 術後家族への説明 （OPE室の説明 室）			
	 手術物品確認（バス トバンド・T 字帯）	 同意書確認（組織依 頼書も必ず手 術室へ持参）				
	 OPオリエンテーショ ン・看護計画 立案の説明施行（バ ンド）					
	 患肢測定（術後の患 肢安静について）					
	 身長・体重測定					

観察		 疼痛 浸出 患側上肢の神経症状 食事摂取量 入院、手術に関する 不安の有無	 疼痛 浸出 患側上肢の神経症状 手術に関する不安の 有無 睡眠	 疼痛 浸出 患側上肢の神経症状 手術に関する不安の 有無 睡眠	 疼痛 浸出 患側上肢の神経症状 手術に関する不安の 有無 睡眠	 疼痛 浸出 患側上肢の神経症状 手術に関する不安の 有無 睡眠
				 麻酔覚醒 創痛 創部浸出液の有無 睡眠 ドレーン排液性状・ 量 呼吸器合併症の有無	 創痛 創部浸出液の有無 患側のむくみ 患側のしびれ 退院後の生活につい ての不安表出 患側の運動	 創痛 創部浸出液の有無 患側のむくみ 患側のしびれ 退院後の生活につい ての不安表出 患側の運動
糖尿病						
書類		 手術承諾書				
		 入院診療計画書				
		 輸血承諾書				
		 麻酔同意書				
		 日常生活自立度 チェックシート				
手術						
リハビリ		 リハビリ			リハビリ開始	
カルテ						
転倒・転落						
自己管理						
条件付き指示		 血圧 160/mmHg以上 ①7Adジピン 5mg 1T ②7Adジピン 5mg 1T ③Dr call 血圧 85/mmHg以下 Dr call		血圧 150/mmHg以上 ニカルジピン原 液 2ml/h 開始 血圧 155/mmHg以上で 1ml/hずつup (最 大6ml/hまで) 血圧 120/mmHg以下で 1ml/hずつdown off可 血圧 85/mmHg以下でDr call	疼痛時 アセリオ静注液1000mg 1,000m g100mL 1袋	疼痛時 アセリオ静注液1000mg 1,000m g100mL 1袋
		 発熱時・疼痛時 カロナール20 0mg 2錠		疼痛時 アセリオ静注液1000mg 1,000m g100mL 1袋	疼痛時 アデフロニックスボ50 50mg 1個 6時間あけて (喘息・潰瘍ある時は使用禁)	疼痛時 アデフロニックスボ50 50mg 1個 6時間あけて (喘息・潰瘍ある時は使用禁)
		 喘息時 メトクロ プラミド注10mg 「テバ」 0.5%2mL		疼痛時 アデフロニックスボ50 50mg 1個 6時間あけて (喘息・潰瘍ある時は使用禁)	発熱時 (38℃以上) アセリオ静注液1 000mg 1,000mg100mL 1袋	発熱時 (38℃以上) アセリオ静注液1 000mg 1,000mg100mL 1袋
		不眠時 デエビゴ 1錠		発熱時 (38℃以上) アセリオ静注液1 000mg 1,000mg100mL 1袋	不眠時 デエビゴ 1錠	不眠時 デエビゴ 1錠
		不眠時 ラメルテオン8mg g 1錠		発熱時 (38℃以上) アデフロニッ クスボ50 50mg 1個	不眠時 デエビゴ 1錠	不眠時 デエビゴ 1錠
				不眠時 デエビゴ 1錠	不眠時 ラメルテオン8mg g 1錠	不眠時 ラメルテオン8mg g 1錠
				不眠時 ラメルテオン8mg g 1錠	不眠時 アタラックスP 25mg 1A静注	不眠時 アタラックスP 25mg 1A静注
				不眠時 アタラックスP 25mg 1A静注	不眠時 セレネース 1/2A 静注 (合 計1Aまで使用可)	不眠時 セレネース 1/2A 静注 (合 計1Aまで使用可)
				不眠時 セレネース 1/2A 静注 (合 計1Aまで使用可)	不眠時 リスベリドン内用液1mg/mL「M EEK」 1包	不眠時 リスベリドン内用液1mg/mL「M EEK」 1包
				不眠時 リスベリドン内用液1mg/mL「M EEK」 1包	喘息時 メトクロプラミド注10mg「テ バ」 0.5%2mL 1A iv	喘息時 メトクロプラミド注10mg「テ バ」 0.5%2mL 1A iv
				喘息時 メトクロプラミド注10mg「テ バ」 0.5%2mL 1A iv	便秘時 センノシド12mg 2錠	便秘時 センノシド12mg 2錠
				便秘時 センノシド12mg 2錠		
				尿量 (200ml/6hr以下) ①ソルデム 1 200ml 100ml/hr ②Dr call		